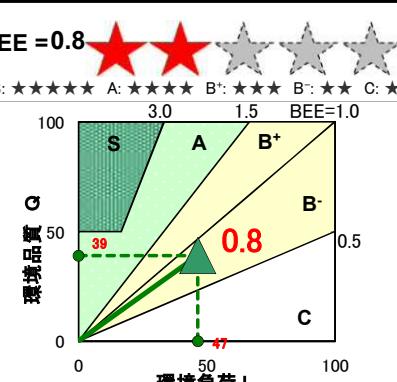
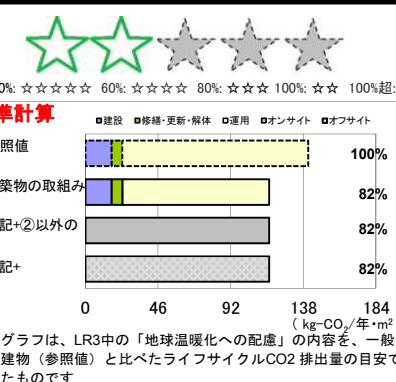
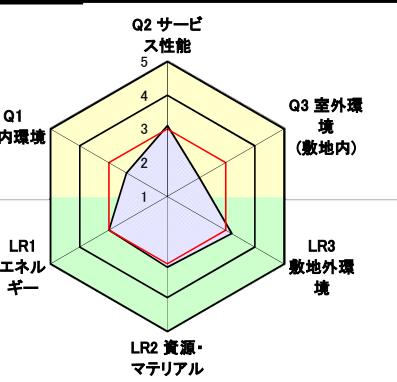


# CASBEE®-建築(新築)

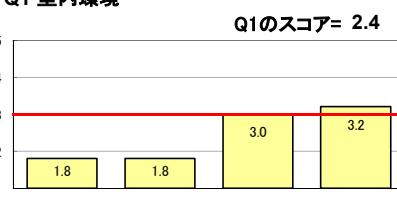
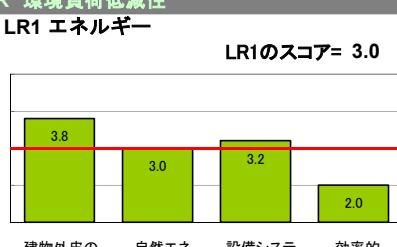
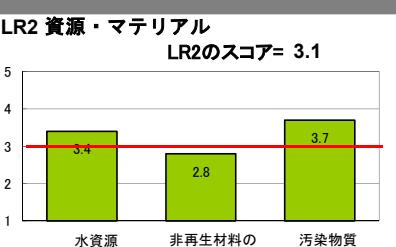
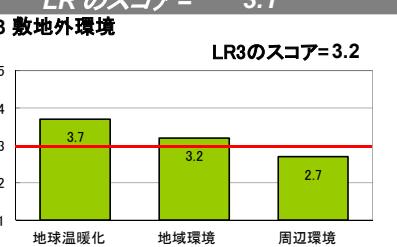
■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)杏林堂薬局 浜松伊左地店	階数	地上1F
建設地	静岡県浜松市	構造	S造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,205時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年10月1日
敷地面積	7,928 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社飯田組一級建築士事務所
建築面積	2,153 m <sup>2</sup>	確認日	2020年10月1日
延床面積	2,149 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社飯田組一級建築士事務所

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 0.8 ★★☆☆☆		30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆			

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア= 2.4</p>  <p>音環境 1.8 温熱環境 1.8 光・視環境 3.0 空気質環境 3.2</p> <p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア= 3.1</p>  <p>機能性 3.1 耐用性 2.7 対応性 3.6</p> <p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア= 2.1</p>  <p>生物環境 1.0 まちなみ 3.0 地域性・ 2.0</p> <p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア= 3.0</p>  <p>建物外皮の 3.8 自然エネ 3.0 設備シス 3.2 効率的 2.0</p> <p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア= 3.1</p>  <p>水資源 3.4 非再生材料の 2.8 汚染物質 3.7</p> <p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア= 3.2</p>  <p>地球温暖化 3.7 地域環境 3.2 周辺環境 2.7</p>			
<b>3 設計上の配慮事項</b>			
<b>総合</b>	<b>その他</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>これはCASBEE静岡(2014年版による評価結果です。</li> </ul>			
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>各室毎調整可能である。マルチヒートポンプ方式</li> <li>仕上材等の建材は、F★★☆☆☆を使用している。</li> <li>館内は禁煙である。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>売場の天井高=3.6mである。</li> <li>階高は4.60mである。</li> <li>省水型便器を採用している。</li> </ul>	
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>BPIm=0.91、BEIm=0.79である。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>省水型便器を採用している。</li> <li>ガラス窓を採用し、発泡剤を用いた断熱材を使用していない。</li> </ul>	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフケイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフケイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

## 1. 建物概要

建物名称 (仮称)杏林堂薬局 浜松伊左地店 新築工事

11

0

BEEラン

100

## 2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5	/5	ふつう
"災害に強いしづおか"の形成 (Disaster)	2.4	/5	がんばろう
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0	/5	ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5	がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
		がんばろう 3 点未満	

### 3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について記述してください。

内訳対応項目

“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)							得点	3.5
	■室内環境対策 ((①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①外壁・天井に断熱材を設置する。 ②③昼光利用は物販店舗のため対象外である。	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能	
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備	
				3.2	3.2.1	③	昼光制御	
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	転体材料の耐用年数	
				2.2.2	2.2.4	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
				2.2.3	2.2.5	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
				2.2.4	2.2.6	④	①外壁・天井に断熱材を設置する。 ②③昼光利用は物販店舗のため対象外である。	
				2.2.5	2.2.6	④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
				2.2.6	2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔	
		■室外環境(敷地内)対策 ((⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥空地率は74.61%、緑被率等の合計は15.48%である。	Q-3	1		⑤	生物環境の保全と創出	
			3	3.2	⑥	敷地内温熱環境の向上		
	■エネルギー対策 ((⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦BPIm=0.91、BEIm=0.79である。	LR-1	1		⑦	建物外皮の熱負荷抑制		
			2		⑧	自然エネルギー利用		
			3		⑨	設備システムの高効率化		
			4	4.1	⑩	モニタリング		
				4.2	⑩	運用管理体制		
	■資源・マテリアル対策 ((⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪省水型便器を採用している。 ⑬発泡剤を用いた断熱材を使用していない。	LR-2	1	1.1	⑪	節水		
				1.2	⑪	雨水利用システム導入の有無		
				1.2.1	⑪	雑排水等利用システム導入の有無		
			2	2.1	⑫	材料使用量の削減		
				2.1.1	⑫	既存建築転体等の継続使用		
				2.1.2	⑫	転体材料におけるリサイクル材の使用		
				2.1.3	⑫	転体材料以外におけるリサイクル材の使用		
				2.1.4	⑫	持続可能な森林から産出された木材		
				2.1.5	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み		
				2.1.6	⑫	有害物質を含まない材料の使用		
	■敷地外環境対策 ((⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率は89%である。	LR-3	1		⑭	地球温暖化への配慮		
			2	2.2	⑮	温熱環境悪化の改善		
	“災害に強いしずおか”的形成(Disaster)	得点						
	■サービス性能対策 ((⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯地域係数Z=1.2、用途係数I=1.0にて構造計算している。	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性	
				2.1.2	⑯	免震・制振性能		
		2.4		2.4.1	⑰	空調・換気設備		
				2.4.2	⑰	給排水・衛生設備		
				2.4.3	⑰	電気設備		
				2.4.4	⑰	機械・配管支持方法		
				2.4.5	⑰	通信・情報設備		
	“しづおかユニバーサルデザイン”的形成(Universal Design)	得点						
	■サービス性能対策 ((⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高は4.60mである。ラーメン構造を採用し、壁長さ比率=0.096である。	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑲	ユニバーサルデザイン計画	
			3	3.1	3.1.1	⑳	階高のゆとり	
				3.1.2	⑳	空間の形状・自由さ		
	■室外環境(敷地内)対策 ((㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑高木を境界沿いに配置し、緑被率等の合計は15.48%である。	Q-3	3	3.1	㉑	地域性への配慮、快適性の向上		
	“緑化及び自然景観”的保全・回復(Nature)	得点						
	■室外環境(敷地内)対策 ((㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) ㉒景観条例に準じている。	Q-3	1		㉕	生物環境の保全と創出		
			2		㉖	まちなみ景観への配慮		
			3	3.2	㉖	敷地内温熱環境の向上		
	■敷地外環境対策 ((㉕温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-3	2	2.2	㉕	温熱環境悪化の改善		